

志高錬成

志を高くもち、よりよい
成果をえるために、ねばり
強く、自分を鍛える

令和3年9月29日(水)
佐久市立浅科中学校

第53回 清流祭 大成功！ 千人千色 ～集めよう、みんなの個性～

清流祭実行委員長、生徒会長が中心となり、全校一丸となって取り組んだ『清流祭』。さすがでした。最高でした。154人の「個性」があふれる中、チーム浅科中として立派な姿を見せてくれました。

○開祭式では、工夫を凝らした演出。見ている全員が引き込まれていきました。

○意見文発表では、各学年の代表者からテーマに沿った意見発表が行われました。4名とも堂々とした姿で、自分の思いや考えを伝えてくれました。また、感想で答える生徒もたくさんいて、浅科中生の仲間の声に答えようとする姿の一面をみせてくれました。

○ステージ発表 総合Ⅱでは・・・

- ・3年生の英語の発表では、3年生の3つのグループQueen live、童話MIX、animationからの発表があり、今までの練習の成果を十分に発揮してくれました。
- ・2年生の英語の発表は「寸劇 浦島太郎」でした。おもしろおかしく、また衣装なども工夫した発表でした。
- ・音楽の発表では、タブレットを使用した学習の成果が見られました。まさに、今の時代らしさを感じました。
- ・太鼓の発表では、地域の伝統を引き継いでいくために中学生が一生懸命、練習に励んだ演奏。迫力満点でした。地域の皆様のおかげです。

○1階に展示された「作品展」。今まで学習してきた成果が形となって表現されていました。すべての学年の展示が集結されていました。ひとつひとつの作品は、個性豊かなものに仕上がりました。

○吹奏楽部の発表。日頃の練習の積み重ねによって完成された「浅中サウンド」。3年生の立派な姿、さすがです。

○午後のミュージックフェスティバル。選曲から各学級の個性にあふれていました。そして、毎日繰り返し練習してきた中で、最高のハーモニーが体育館に響きわたりました。きっと保護者の皆様の心に届いたことでしょう。

○閉祭式。1日を振り返り、全校で目指した「個性」。ひとりひとり、忘れられない1日になったと思います。

今年の「清流祭」は、新型コロナウイルスの影響により、様々な制限の中で実施しました。保護者の皆様に、生徒の活躍を十分見ていただくことができなかつたかもしれません。しかし、この状況だからこそ、生徒たちが考え、全校で協力して創り上げた「清流祭」。ひとりひとりの個性が輝き、そして心の1ページに刻まれたことでしょう。清流祭の大成功は、生徒ひとりひとりが協力して形となったものです。そして保護者の皆様をはじめとし、清流祭に関わっていただいた皆様の協力のもと「清流祭」が完成されました。本当に感謝申し上げます。そして、清流祭を中心となってリードしてくれた、清流祭実行委員長、生徒会長、そして3年生の皆さん、先輩を支えてくれた1・2年生の皆さん、本当にありがとうございました。サイコーです。

